

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年10月30日  
上場取引所 東

上場会社名 京セラ株式会社

コード番号 6971 URL <https://www.kyocera.co.jp/>

代表者（役職名）取締役社長（氏名）谷本 秀夫

問合せ先責任者（役職名）執行役員 経営管理本部長（氏名）千田 浩章 TEL 075-604-3500

半期報告書提出予定日 2024年11月13日

配当支払開始予定日 2024年12月5日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	998,588	1.3	37,876	△29.9	51,820	△33.5	36,078	△36.1	19,974	△92.6
2024年3月期中間期	985,290	△2.7	54,002	△29.4	77,867	△25.4	56,487	△25.3	268,234	10.6

	基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する中間利益	希薄化後1株当たり親会社の所有者に帰属する中間利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	25.61	—
2024年3月期中間期	39.90	—

（注）当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する中間利益」を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社の所有者に帰属する持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	4,408,426	3,233,768	3,208,945	72.8
2024年3月期	4,465,376	3,252,858	3,225,595	72.2

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	100.00	—	25.00	—
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

詳細については、本日（2024年10月30日）公表の「2025年3月期 通期連結業績予想の修正及び剰余金の配当（中間配当）の決議に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は、2024年1月1日付で、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しています。なお、2024年3月期の年間配当金合計については単純合計ができないため表示していません。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	2,020,000	0.8	68,000	△26.8	100,000	△26.5	71,000	△29.8	50.40	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

「基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益」は、2025年3月期中間期の期中平均株式数を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	1,510,474,320株	2024年3月期	1,510,474,320株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	101,725,281株	2024年3月期	101,831,108株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	1,408,696,043株	2024年3月期中間期	1,415,602,188株

(注) 当社は、2024年1月1日付で、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を記載しています。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 将来の見通しに関する記述等について

当決算短信に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は当決算短信に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。

2. 決算補足説明資料の入手方法について

決算補足説明資料は、同日当社ホームページに掲載しています。

## 【添付資料】

## ○ 目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	5
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 要約中間連結財政状態計算書 .....	8
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 .....	10
(要約中間連結損益計算書) .....	10
(要約中間連結包括利益計算書) .....	11
(3) 要約中間連結持分変動計算書 .....	12
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当中間期の経営成績の概況

## &lt;連結業績&gt;

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の世界経済は、各国におけるインフレ率の低下の影響もあり緩やかに成長しました。当社の主要市場である半導体関連や情報通信関連市場においては、主にAI関連は需要が増加しましたが、市場全体としては本格的な回復には至りませんでした。

当中間連結会計期間の売上高は、コアコンポーネントセグメントは横ばいとなったものの、電子部品セグメント及びソリューションセグメントが円安の影響もあり増収となったことから、前中間連結会計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)に比べ、13,298百万円(1.3%)増加の998,588百万円となりました。

利益は、部品の受注低迷に伴う生産設備の稼働率低下や人件費等の増加を主因に減少しました。レポートセグメント別では、ソリューションセグメントは円安の影響を主因に増益となったものの、コアコンポーネントセグメント及び電子部品セグメントは、半導体部品有機材料事業及びKyocera AVX Components Corporationグループ(以下「KAVX」)の需要が大きく減少したことにより減益となりました。これにより、営業利益は前中間連結会計期間に比べ、16,126百万円(29.9%)減少の37,876百万円、税引前利益は同26,047百万円(33.5%)減少の51,820百万円、親会社の所有者に帰属する中間利益は同20,409百万円(36.1%)減少の36,078百万円となりました。

## 【連結業績】

(百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
売上高	985,290	100.0	998,588	100.0	13,298	1.3
営業利益	54,002	5.5	37,876	3.8	△16,126	△29.9
税引前利益	77,867	7.9	51,820	5.2	△26,047	△33.5
親会社の所有者に帰属する中間利益	56,487	5.7	36,078	3.6	△20,409	△36.1
米ドル平均為替レート (円)	141	—	153	—	—	—
ユーロ平均為替レート (円)	153	—	166	—	—	—
設備投資額	65,963	6.7	68,933	6.9	2,970	4.5
有形固定資産 減価償却費	54,077	5.5	57,154	5.7	3,077	5.7
研究開発費	50,757	5.2	57,932	5.8	7,175	14.1

## ＜レポートニングセグメント別の業績＞

## ① コアコンポーネント

当中間連結会計期間の売上高は、前中間連結会計期間に比べ724百万円(0.3%)減少の281,678百万円となりました。事業利益は同13,171百万円(43.2%)減少の17,295百万円となり、利益率は6.1%へ低下しました。

売上高は、主に販売において半導体製造装置向けファインセラミック部品等が増加したものの、情報通信インフラ市場向け有機基板が減少となったことにより、横ばいとなりました。事業利益は、主に有機基板の売上減少や、減価償却費等の固定費の増加により、減少しました。

## ② 電子部品

当中間連結会計期間の売上高は、前中間連結会計期間に比べ6,165百万円(3.5%)増加の180,923百万円となりました。事業利益は同9,813百万円(99.5%)減少の47百万円となりました。

売上高は、情報通信及び産業機器市場向けコンデンサや水晶部品等が円安効果もあり増収となったことを主因に増加しました。一方、事業利益は、KAVXにおける新工場の稼働率低迷に伴う原価率の上昇及び人件費等の増加、並びに宮崎県日向灘を震源とする地震に伴う損失の発生により、大幅に減少しました。

## ③ ソリューション

当中間連結会計期間の売上高は、前中間連結会計期間に比べ9,093百万円(1.7%)増加の546,187百万円となりました。事業利益は同1,922百万円(6.1%)増加の33,299百万円となり、利益率は6.1%へ向上しました。

主にドキュメントソリューション事業が増収となったことに加え、円安効果もあり、レポートニングセグメント全体で増収増益となりました。

## 【レポートिंगセグメント別売上高】

(百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)		増 減	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	増減金額	増減率 (%)
コアコンポーネント	282,402	28.7	281,678	28.2	△724	△0.3
産業・車載用部品	109,165	11.1	113,857	11.4	4,692	4.3
半導体関連部品	158,916	16.1	151,741	15.2	△7,175	△4.5
その他	14,321	1.5	16,080	1.6	1,759	12.3
電子部品	174,758	17.7	180,923	18.1	6,165	3.5
ソリューション	537,094	54.5	546,187	54.7	9,093	1.7
機械工具	159,622	16.2	160,810	16.1	1,188	0.7
ドキュメントソリューション	212,891	21.6	232,222	23.2	19,331	9.1
コミュニケーション	105,045	10.7	105,480	10.6	435	0.4
その他	59,536	6.0	47,675	4.8	△11,861	△19.9
その他の事業	9,749	1.0	8,079	0.8	△1,670	△17.1
調整及び消去	△18,713	△1.9	△18,279	△1.8	434	—
売上高	985,290	100.0	998,588	100.0	13,298	1.3

## 【レポートिंगセグメント別利益(△損失)】

(百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
コアコンポーネント	30,466	10.8	17,295	6.1	△13,171	△43.2
産業・車載用部品	11,737	10.8	10,983	9.6	△754	△6.4
半導体関連部品	18,767	11.8	5,634	3.7	△13,133	△70.0
その他	△38	—	678	4.2	716	—
電子部品	9,860	5.6	47	0.0	△9,813	△99.5
ソリューション	31,377	5.8	33,299	6.1	1,922	6.1
機械工具	9,212	5.8	9,434	5.9	222	2.4
ドキュメントソリューション	19,352	9.1	21,491	9.3	2,139	11.1
コミュニケーション	593	0.6	1,119	1.1	526	88.7
その他	2,220	3.7	1,255	2.6	△965	△43.5
その他の事業	△20,130	—	△23,023	—	△2,893	—
事業利益計	51,573	5.2	27,618	2.8	△23,955	△46.4
本社部門損益等	26,294	—	24,202	—	△2,092	△8.0
税引前利益	77,867	7.9	51,820	5.2	△26,047	△33.5

(注) 当社は、当第1四半期連結累計期間より、前連結会計年度まで「その他の事業」に含めていたエネルギーソリューション事業を「ソリューション」セグメントの「その他」に含めることとし、「本社部門損益等」に含めていたエネルギー関連出資に伴う持分法損益等についても同セグメントに含めて業績管理することとしました。これに伴い、前中間連結会計期間の業績は、この管理区分にて表示しています。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## &lt;連結財政状態の状況&gt;

当中間連結会計期間末の資産合計は、資本金証券及び負債性証券が増加した一方、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ56,950百万円減少し、4,408,426百万円となりました。負債合計は、主に営業債務及びその他の債務が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ37,860百万円減少し、1,174,658百万円となりました。資本合計は、主にその他の資本の構成要素の減少により、前連結会計年度末に比べ19,090百万円減少し、3,233,768百万円となりました。

## 【連結財政状態】

(百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)	増減金額
資産合計	4,465,376	4,408,426	△56,950
負債合計	1,212,518	1,174,658	△37,860
資本合計	3,252,858	3,233,768	△19,090

## &lt;連結キャッシュ・フローの状況&gt;

現金及び現金同等物の当中間期末残高は、当期首残高の424,792百万円に比べ、37,930百万円減少し、386,862百万円となりました。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・インは、前中間連結会計期間の111,268百万円に比べ、14,681百万円増加し、125,949百万円となりました。これは主に、中間利益が減少した一方、営業債務が減少から増加に転じたことによるものです。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・アウトは、前中間連結会計期間の81,568百万円に比べ、21,268百万円増加し、102,836百万円となりました。これは主に、有形固定資産及び有価証券の購入による支出が増加したことによるものです。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・アウトは、前中間連結会計期間の28,679百万円に比べ、22,415百万円増加し、51,094百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が減少した一方、借入金の調達が増加したことによるものです。

## 【連結キャッシュ・フロー】

(百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,268	125,949	14,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,568	△102,836	△21,268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,679	△51,094	△22,415
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,128	△9,949	△30,077
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,149	△37,930	△59,079
現金及び現金同等物の期首残高	373,500	424,792	51,292
現金及び現金同等物の中間期末残高	394,649	386,862	△7,787

## (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間においては、主に半導体部品有機材料事業及びKAVXにおける需要動向が期初の想定を下回りました。当第3四半期連結会計期間(2024年10月1日から2024年12月31日まで)以降においても両事業の需要回復には時間を要することが予想されることから、当連結会計年度の連結業績予想を下記のとおり修正します。なお、レポートニングセグメント別業績予想についても次頁に記載のとおり修正しています。

これらの将来予測情報については、【サマリー情報】「※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項 1. 将来の見通しに関する記述等について」をご参照ください。

## 【通期連結業績予想】

(百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)				前期比 増減率 (%)
			前 回 (2024年4月26日公表)		今 回 (2024年10月30日公表)		
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	
売上高	2,004,221	100.0	2,050,000	100.0	2,020,000	100.0	0.8
営業利益	92,923	4.6	110,000	5.4	68,000	3.4	△26.8
税引前利益	136,143	6.8	150,000	7.3	100,000	5.0	△26.5
親会社の所有者に帰属する当期利益	101,074	5.0	112,000	5.5	71,000	3.5	△29.8
米ドル平均為替レート (円)	145	—	145	—	145	—	—
ユーロ平均為替レート (円)	157	—	155	—	155	—	—
設備投資額	161,684	8.1	200,000	9.8	160,000	7.9	△1.0
有形固定資産 減価償却費	111,724	5.6	120,000	5.9	120,000	5.9	7.4
研究開発費	104,290	5.2	120,000	5.9	120,000	5.9	15.1



## 【レポートिंगセグメント別売上高予想】

(百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)				前期比 増減率 (%)
			前 回 (2024年4月26日公表)		今 回 (2024年10月30日公表)		
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	
コアコンポーネント	569,145	28.4	580,000	28.3	559,000	27.7	△1.8
産業・車載用部品	224,574	11.2	232,000	11.3	234,000	11.6	4.2
半導体関連部品	314,649	15.7	315,000	15.4	291,000	14.4	△7.5
その他	29,922	1.5	33,000	1.6	34,000	1.7	13.6
電子部品	352,277	17.6	360,000	17.5	350,000	17.3	△0.6
ソリューション	1,101,625	54.9	1,131,000	55.2	1,132,700	56.1	2.8
機械工具	310,740	15.5	313,700	15.3	313,700	15.5	1.0
ドキュメントソリューション	452,162	22.5	470,000	22.9	480,000	23.8	6.2
コミュニケーション	224,403	11.2	231,300	11.3	229,000	11.3	2.0
その他	114,320	5.7	116,000	5.7	110,000	5.5	△3.8
その他の事業	17,680	0.9	16,000	0.8	15,300	0.7	△13.5
調整及び消去	△36,506	△1.8	△37,000	△1.8	△37,000	△1.8	—
売上高	2,004,221	100.0	2,050,000	100.0	2,020,000	100.0	0.8

## 【レポートिंगセグメント別利益(△損失)予想】

(百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)				前期比 増減率 (%)
			前 回 (2024年4月26日公表)		今 回 (2024年10月30日公表)		
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	
コアコンポーネント	57,226	10.1	61,000	10.5	38,000	6.8	△33.6
産業・車載用部品	26,409	11.8	29,000	12.5	25,000	10.7	△5.3
半導体関連部品	30,375	9.7	31,000	9.8	12,000	4.1	△60.5
その他	442	1.5	1,000	3.0	1,000	2.9	126.2
電子部品	6,521	1.9	30,000	8.3	1,000	0.3	△84.7
ソリューション	69,841	6.3	86,000	7.6	80,000	7.1	14.5
機械工具	16,837	5.4	22,000	7.0	18,700	6.0	11.1
ドキュメントソリューション	43,940	9.7	47,000	10.0	48,000	10.0	9.2
コミュニケーション	6,964	3.1	10,000	4.3	7,600	3.3	9.1
その他	2,100	1.8	7,000	6.0	5,700	5.2	171.4
その他の事業	△41,049	—	△47,000	—	△50,000	—	—
事業利益計	92,539	4.6	130,000	6.3	69,000	3.4	△25.4
本社部門損益等	43,604	—	20,000	—	31,000	—	△28.9
税引前利益	136,143	6.8	150,000	7.3	100,000	5.0	△26.5

(注) 当社は、当第1四半期連結累計期間より、前連結会計年度まで「その他の事業」に含めていたエネルギーソリューション事業を「ソリューション」セグメントの「その他」に含めることとし、「本社部門損益等」に含めていたエネルギー関連出資に伴う持分法損益等についても同セグメントに含めて業績管理することとしました。これに伴い、前連結会計年度の業績は、この管理区分にて表示しています。

## 2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2024年3月31日)		当中間連結会計期間 (2024年9月30日)		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
資産の部					
流動資産					
現金及び現金同等物	424,792		386,862		△37,930
営業債権及びその他の債権	392,212		358,747		△33,465
その他の金融資産	35,541		42,395		6,854
棚卸資産	540,225		525,767		△14,458
その他の流動資産	46,584		49,168		2,584
流動資産合計	1,439,354	32.2	1,362,939	30.9	△76,415
非流動資産					
資本性証券及び負債性証券	1,640,038		1,676,401		36,363
持分法で会計処理されている投資	15,979		15,978		△1
その他の金融資産	46,539		47,719		1,180
有形固定資産	665,990		664,209		△1,781
使用権資産	82,642		79,566		△3,076
のれん	282,879		278,720		△4,159
無形資産	152,171		144,109		△8,062
繰延税金資産	50,774		50,623		△151
その他の非流動資産	89,010		88,162		△848
非流動資産合計	3,026,022	67.8	3,045,487	69.1	19,465
資産合計	4,465,376	100.0	4,408,426	100.0	△56,950

	前連結会計年度 (2024年3月31日)		当中間連結会計期間 (2024年9月30日)		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
負債及び資本の部					
負債の部					
流動負債					
借入金	9,394		9,266		△128
営業債務及びその他の債務	212,133		185,519		△26,614
リース負債	24,378		25,030		652
その他の金融負債	5,934		852		△5,082
未払法人所得税等	22,530		11,285		△11,245
未払費用	142,338		140,972		△1,366
引当金	8,474		7,589		△885
その他の流動負債	45,008		45,122		114
流動負債合計	470,189	10.6	425,635	9.6	△44,554
非流動負債					
借入金	199,760		201,091		1,331
リース負債	70,659		68,084		△2,575
退職給付に係る負債	9,138		8,945		△193
繰延税金負債	441,345		448,459		7,114
引当金	11,594		12,155		561
その他の非流動負債	9,833		10,289		456
非流動負債合計	742,329	16.6	749,023	17.0	6,694
負債合計	1,212,518	27.2	1,174,658	26.6	△37,860
資本の部					
資本金	115,703		115,703		—
資本剰余金	118,754		118,800		46
利益剰余金	1,967,527		1,968,598		1,071
その他の資本の構成要素	1,166,752		1,148,837		△17,915
自己株式	△143,141		△142,993		148
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,225,595	72.2	3,208,945	72.8	△16,650
非支配持分	27,263	0.6	24,823	0.6	△2,440
資本合計	3,252,858	72.8	3,233,768	73.4	△19,090
負債及び資本合計	4,465,376	100.0	4,408,426	100.0	△56,950

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書  
(要約中間連結損益計算書)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)		増 減	
	金 額	比率	金 額	比率	増減金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	985,290	100.0	998,588	100.0	13,298	1.3
売上原価	705,671	71.6	716,122	71.7	10,451	1.5
売上総利益	279,619	28.4	282,466	28.3	2,847	1.0
販売費及び一般管理費	225,617	22.9	244,590	24.5	18,973	8.4
営業利益	54,002	5.5	37,876	3.8	△16,126	△29.9
金融収益	30,407	3.1	31,231	3.1	824	2.7
金融費用	8,055	0.8	19,177	1.9	11,122	138.1
持分法による投資損益	248	0.0	412	0.0	164	66.1
その他—純額	1,265	0.1	1,478	0.2	213	16.8
税引前利益	77,867	7.9	51,820	5.2	△26,047	△33.5
法人所得税費用	19,834	2.0	14,150	1.4	△5,684	△28.7
中間利益	58,033	5.9	37,670	3.8	△20,363	△35.1
中間利益の帰属：						
親会社の所有者	56,487	5.7	36,078	3.6	△20,409	△36.1
非支配持分	1,546	0.2	1,592	0.2	46	3.0
中間利益	58,033	5.9	37,670	3.8	△20,363	△35.1
1株当たり情報						
親会社の所有者に帰属する 中間利益：						
— 基本的及び希薄化後(円)	39.90		25.61			

## (要約中間連結包括利益計算書)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)	増減金額
	金額	金額	
中間利益	百万円 58,033	百万円 37,670	百万円 △20,363
その他の包括利益—税効果控除後			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	121,042	22,218	△98,824
確定給付制度の再測定	142	△1	△143
純損益に振り替えられることのない項目合計	121,184	22,217	△98,967
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	△86	36	122
在外営業活動体の換算差額	88,949	△39,927	△128,876
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	154	△22	△176
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	89,017	△39,913	△128,930
その他の包括利益計	210,201	△17,696	△227,897
中間包括利益	268,234	19,974	△248,260

中間包括利益の帰属：			
親会社の所有者	266,145	18,505	△247,640
非支配持分	2,089	1,469	△620
中間包括利益	268,234	19,974	△248,260

## (3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2023年4月1日残高	115,703	119,144	1,912,372	969,801	△93,243	3,023,777	25,058	3,048,835
中間利益			56,487			56,487	1,546	58,033
その他の包括利益				209,658		209,658	543	210,201
中間包括利益計	—	—	56,487	209,658	—	266,145	2,089	268,234
配当金			△35,891			△35,891	△967	△36,858
自己株式の取得					△46,943	△46,943		△46,943
自己株式の処分		48			118	166		166
非支配持分との取引		△438				△438	△157	△595
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			148	△148		—		—
その他			131			131		131
2023年9月30日残高	115,703	118,754	1,933,247	1,179,311	△140,068	3,206,947	26,023	3,232,970

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2024年4月1日残高	115,703	118,754	1,967,527	1,166,752	△143,141	3,225,595	27,263	3,252,858
中間利益			36,078			36,078	1,592	37,670
その他の包括利益				△17,573		△17,573	△123	△17,696
中間包括利益計	—	—	36,078	△17,573	—	18,505	1,469	19,974
配当金			△35,216			△35,216	△1,592	△36,808
自己株式の取得					△2	△2		△2
自己株式の処分		49			150	199		199
非支配持分との取引		△5				△5	△2,317	△2,322
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			342	△342		—		—
その他		2	△133			△131		△131
2024年9月30日残高	115,703	118,800	1,968,598	1,148,837	△142,993	3,208,945	24,823	3,233,768

## (4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)	増減金額
	金額	金額	
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
中間利益	58,033	37,670	△20,363
減価償却費及び償却費	75,361	81,209	5,848
金融収益及び金融費用	△22,352	△12,054	10,298
持分法による投資損益	△248	△412	△164
有形固定資産売却損益	△886	△203	683
法人所得税費用	19,834	14,150	△5,684
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	32,839	16,140	△16,699
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,370	△225	9,145
その他の資産の増減額(△は増加)	1,588	△5,583	△7,171
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△26,339	7,607	33,946
未払費用の増減額(△は減少)	△6,966	△1,990	4,976
その他の負債の増減額(△は減少)	3,300	△6,366	△9,666
その他—純額	△15,299	△11,230	4,069
小計	109,495	118,713	9,218
利息及び配当金の受取額	30,318	31,340	1,022
利息の支払額	△1,942	△2,163	△221
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△26,603	△21,941	4,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,268	125,949	14,681
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の購入による支出	△75,097	△91,354	△16,257
無形資産の購入による支出	△6,163	△6,208	△45
有形固定資産の売却による収入	1,914	2,749	835
事業取得による支出(取得現金控除後)	△623	—	623
定期預金及び譲渡性預金の預入	△4,097	△6,904	△2,807
定期預金及び譲渡性預金の解約	3,112	4,700	1,588
有価証券の購入による支出	△931	△6,257	△5,326
有価証券の売却及び償還による収入	325	1,368	1,043
その他—純額	△8	△930	△922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,568	△102,836	△21,268
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額(△は減少)	△20,000	—	20,000
長期借入金の調達	94,680	7,257	△87,423
長期借入金の返済	△3,964	△5,409	△1,445
リース負債の返済	△12,484	△15,066	△2,582
配当金の支払額	△38,360	△37,872	488
自己株式の取得による支出	△46,943	△2	46,941
その他—純額	△1,608	△2	1,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,679	△51,094	△22,415
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,128	△9,949	△30,077
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,149	△37,930	△59,079
現金及び現金同等物の期首残高	373,500	424,792	51,292
現金及び現金同等物の中間期末残高	394,649	386,862	△7,787

## (5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## ① レポートセグメントの概要

当社のレポートセグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、マネジメントが経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっています。

なお、当社のレポートセグメントは、事業セグメントの区分と同じとしています。

各レポートセグメントの主要事業・子会社は次のとおりです。

レポートセグメント	主要事業・子会社
コアコンポーネント	ファインセラミック部品、自動車部品、光学部品、セラミック材料、有機材料、医療機器、宝飾・応用商品
電子部品	電子部品、Kyocera AVX Components Corporation
ソリューション	機械工具、情報機器（京セラドキュメントソリューションズ(株)）、通信機器、情報通信サービス（京セラコミュニケーションシステム(株)）、スマートエナジー、エネルギーソリューション、ディスプレイ、プリンティングデバイス

また、当社は、当第1四半期連結累計期間より、前連結会計年度まで「その他の事業」に含めていたエネルギーソリューション事業を「ソリューション」セグメントに含めることとし、「本社部門損益等」に含めていたエネルギー関連出資に伴う持分法損益等についても同セグメントに含めて業績管理することとしました。これに伴い、前中間連結会計期間の業績は、この管理区分にて表示しています。



## ② レポートセグメントに関する情報

前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間のセグメント情報は次のとおりです。

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(百万円)

	レポートセグメント			その他の事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結合計
	コアコン ポーネント	電子部品	ソリュー ション				
売上高							
外部売上高	281,946	174,233	523,156	5,955	985,290	—	985,290
セグメント間取引	456	525	13,938	3,794	18,713	△18,713	—
合 計	282,402	174,758	537,094	9,749	1,004,003	△18,713	985,290
事業利益(△損失)	30,466	9,860	31,377	△20,130	51,573	—	51,573
本社部門損益等(注) 3	—	—	—	—	—	—	26,294
税引前利益	—	—	—	—	—	—	77,867
その他の項目							
設備投資額 (有形固定資産)	22,867	17,123	12,902	3,705	56,597	9,366	65,963
減価償却費及び償却費	23,963	15,827	26,170	4,382	70,342	5,019	75,361
研究開発費	8,858	6,815	20,416	14,668	50,757	—	50,757
持分法による投資損益	—	—	219	—	219	29	248

(注) 1 「その他の事業」の区分はレポートセグメントに含まれない事業セグメントであり、主にGaNデバイス事業及びレポートセグメントに帰属しない研究開発費等です。

2 調整額は次のとおりです。

(1) セグメント間取引の調整額は、セグメント間取引消去です。

(2) 設備投資額(有形固定資産)の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる設備投資額です。

(3) 減価償却費及び償却費の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる減価償却費及び償却費です。

(4) 持分法による投資損益の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる持分法による投資損益です。

3 本社部門損益等は各セグメントに帰属しない収益・費用を指し、主に金融収支から構成されています。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(百万円)

	レポートिंगセグメント			その他の事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結合計
	コアコン ポーネント	電子部品	ソリュー ション				
売上高							
外部売上高	281,263	180,398	531,691	5,236	998,588	—	998,588
セグメント間取引	415	525	14,496	2,843	18,279	△18,279	—
合 計	281,678	180,923	546,187	8,079	1,016,867	△18,279	998,588
事業利益(△損失)	17,295	47	33,299	△23,023	27,618	—	27,618
本社部門損益等(注) 3	—	—	—	—	—	—	24,202
税引前利益	—	—	—	—	—	—	51,820
その他の項目							
設備投資額 (有形固定資産)	24,644	19,679	12,814	1,975	59,112	9,821	68,933
減価償却費及び償却費	25,478	17,277	28,147	4,949	75,851	5,358	81,209
研究開発費	10,584	7,688	19,986	19,674	57,932	—	57,932
持分法による投資損益	—	—	274	—	274	138	412

(注) 1 「その他の事業」の区分はレポートिंगセグメントに含まれない事業セグメントであり、主にGaNデバイス事業及びレポートिंगセグメントに帰属しない研究開発費等です。

2 調整額は次のとおりです。

(1)セグメント間取引の調整額は、セグメント間取引消去です。

(2)設備投資額(有形固定資産)の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる設備投資額です。

(3)減価償却費及び償却費の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる減価償却費及び償却費です。

(4)持分法による投資損益の調整額は、各セグメントに帰属しない本社部門にかかる持分法による投資損益です。

3 本社部門損益等は各セグメントに帰属しない収益・費用を指し、主に金融収支から構成されています。